

任意団体 おてんき舎

2022.9.24 オンラインシンポジウム補足資料

結舎（2019年4月～）のきっかけ

中学校の相談員業務について、やむを得ず時間や期間で区切られるジレンマを感じていた。

厳しい生育環境にいる子どもたちは大人の事情で人間関係を分断される経験が少なくない為、必要な時に連絡をしてもらえる媒体・卒業後に複数の「次のコミュニティ」とつながるお手伝いをできるような活動を探っていた。仕事以外で関わる場合、一生関わりを継続すること・途中でやめない覚悟を問われた。



活動内容について

「学童～思春期の見守りと伴走」…不登校生徒やヤングケアラー本人、保護者の話の傾聴

「孤独な育児（核家族・ワンオペ育児・ひとり親）家庭との関わり」…市内のハイリスク妊産婦おむつ宅配事業者と提携、配達・家庭訪問など

「生活用品・衣料・食品のお届け」…市内子ども食堂利用者、学生支援団体など

「若年女性の生きづらさへの関り」…高校生、学生ではない10代、上記おむつ宅配利用者（母）らに書籍配布や情報提供、窓口同行

「てらこや（学習支援教室）」…おもに小学生向け 埼玉県学習支援員派遣事業/アスポート協力による

「性やいのちの話」…CAP 講座、誕生学講座の開催

「支援者（大人）向けセミナー企画」…児童虐待防止のための講演会の開催

「課題を共有する連携団体とともに重層的に」…市内子ども食堂、フードパントリー団体、民生児童委員、教員OB、親子サークル運営者、地域の生協、社会的養護経験者のアフターケア事業者らとともに



虐待予防、育児支援を目的に『人と人、人とコミュニティをつなぐお手伝い』をしています。